



# 第113話 まんが:じっく

～経済課より～

## 肥料・農薬の予約申し込みでコスト低減を!

主人公の一ノ瀬なおさんは、現在地元の高校に通う16歳。そろそろ就職か進学か決める時期。JAに勤めている姉の話を聞きながら、将来の自分を見つめます。肥料や飼料などの生産資材の価格高騰が続く中、JAでは事前予約受け付けで生産者のコスト低減を図っています。

**宮農経済センターにて**

物価上昇  
続くねえ

ホントに

水道光熱費の上昇で  
製造・物流などの  
諸経費も高くなって  
しまいましたからね

他にも要因は  
あるけども

**長島 光一 (50)**  
JA経済課の職員

肥料などに関しては  
海外からの輸入原料価格が  
落ち着いてきたものの  
日本国内の国産原料費  
諸経費・賃上げ分で  
価格が上がっていますよね

みんな踏ん張り時って  
ことなんだよなあ

JA全農でも肥料価格の上昇に  
対応できることはないかと  
肥料原料の安定確保に向けて  
さまざまな取り組みをしています

**JA全農**

肥料原料安定確保に  
向けた取り組み

原料の調達国を多元化し  
供給を安定させる

国の備蓄支援事業を  
活用し、輸入が途絶しても  
国内の供給を安定させる

さらに輸入原料が少なく抑えられる  
日本国内の鶏ふん燃焼灰や  
堆肥などの地域資源を使用した  
エコ肥料を販売することで  
価格の抑制へつなげていますよ

身近なところだと  
JAが夏期営農相談会資料で  
令和6年用の春肥料・水稻農薬の  
予約取りまとめを行うことで  
価格の抑制、  
計画的な配送ができ、  
安定的な供給につながります

共同購入で  
価格を抑える  
仕組みだね!

夏期営農相談会資料  
予約申し込み

こつした工夫の  
積み重ねで  
当用価格より安く  
生産者に提供できる  
そうなんですよ

今回も事前の  
予約注文をするよ!

予約価格は  
9月26日申し込み  
までですので  
ぜひご活用  
くださいね!

よろしくお願いします!!

### 編集後記

▽8月は連日の30℃超えに加え、熱帯夜の日も多く、連日、熱中症警戒アラートが発令されました。季節は秋ですが、まだ暑い日が続いています。秋の収穫作業の季節となりました。寒暖の差などで夏の暑さの疲れも出る時期です。作業をされる際には、熱中症対策も万全に行いましょう。

(及川)



▽新型コロナウイルスの分類が5類に引き下げられ、各地で夏祭りも盛大に行われました。JAでは、一閑夏まつり2日目のくるくる踊り大パレードに参加し、管内の小菊とリンドウをプレゼントしながらPRしました。

▽間もなく稲刈りの時期を迎えますが、9月も気温が高いためです。熱中症にはまだまだ注意が必要です。(阿部)

